

ベトナム子ども基金通信

No.79

2021.2.12



青葉奨学金支給の様子 ゲンヴィエットスアン小学校

人間である一番大きな恵みは何でしょうか。それは夢と希望を持つことだと、10歳の少女から教わりました。

彼女と初めて出会ったのは高校1年生の、ボランティア活動を通じてHIV／エイズ感染者向けの施設を訪問したときです。当時ベトナムではHIV感染者に対する偏見がまだ高く、あまりにも周りから差別を受けていたせいか、最初彼女はすごく人見知りで私たちを避けようとしていました。数回訪問の後、やっと彼女は心を開いてくれて、パワフルで、明るい性格を見せてくれました。生まれてからこの難病にかかって、いつまで生きられるか分からない状態にもかかわらず、彼女は大きな夢を持って、明日への希望を抱いて日々を迎えていました。「将来お医者さんになりたい」と目を

輝かせながら、私たちに語り続けました。

夢ってすごいものだとは初めて実感できました。どんな厳しい状況に置かれても、夢と希望さえ持てば決して倒れることなく、その目標に向かって進むことができます。彼女の純粋な夢とその前向きな姿が、私に大きな勇気を与えてくれました。当時15歳であった私は、彼女のように将来の夢についてきちんと考えたことなく、小さいことでも落ち込んでしまう自分を恥ずかしく感じました。

将来どんな仕事をして、どのような人になりたいか、そのときまだ明確に見えていませんでしたが、はっきり分かったのは「いつか彼女らの夢を実現させたい」ということです。彼女と出会って、私はそう決めました。

(レ・ゴック・バオ・ヴィー)

～大学生の夢をかなえることを応援する奨学金～ ヴォン・レン基金

ヴォン・レン基金の奨学生はホーチミンの大学生から選ばれ「優秀で、社会問題に興味を持ち、懸命に前に進んで学ぼうと意欲があり、人生に求めることがあること」が奨学金をもらえる条件です。奨学金は毎月100万ドン、第4日曜日の朝に集いが開かれ、その集いに参加しなければ奨学金はもらえません。活動の一部をご報告いたします。

<2019年12月の活動> 先週の日曜日は、ヴォン・レン基金の2019年の最後の集まりでした。やることはたくさんあります。この1カ月にしたこと、自分が読んだ本をみんなに共有し、この12カ月を過ごした後に先生方に伝えたかったことの発表し、そして、奨学金継続支給のための学生へのインタビューがありました。

先月、メールで奨学生のレポート読みました。彼らのレポートは私を本当に幸せにしました。彼らは自分がしたこと、自分が読んだ良い本について誠実に共有してくれました。気になる課題もあります。彼らの書くスキルを練習するためにもっと電子メールを送る必要があるということです。読者に自分の言いたいことを

理解してもらえるように書くこと。

次は、ミン・ニエム著「Understanding the Heart」についての話し合いです。トゥイ・ガーさん、ナム・フーンさんが発表しました。非常に良い発表でした。その本自体は良い本です。心を理解するというトピックは、ヴォン・レン奨学金の今後の活動に良い影響を与えます。



<2020年5月の活動> 5月31日はヴォン・レン基金の「今年の最初」の活動日でした。COVID-19の拡大のため、私たちの学生が参加するのは初めてなので、今回はより特別です。



議論のトピックはCOVID-19でした。感染拡大の深刻さ、感染が人々の生活と経済に与える影響、感染症と

の闘いにおける政府の成功、そして、困難な時期の中での優しさ、国全体が隔離された日々の中に感じた否定的なことについて話し合いました。2019年から継続の学生は熱心にコメントし、2020年の新しい学生たちはまだ慣れておらず臆病で、この奨学金の活動の最初の頃を思い出させます。

一番楽しかったのは、挨拶の時間です。お菓子や果物がたくさんあり、先輩たちの楽しいパフォーマンス「Ghen Co Vy」^(注)は、とても印象的でした。

(注) ベトナム発、手洗い励行の替え歌とダンス。世界中で話題となった。

<7月の活動> 今朝は、ヴォン・レン基金の7月の活動でした。今月の活動や学習と、読んだ本について共有した後、ランディ・パウシュ教授の「最後の授業」についてのホアン・カさんとグエン・フォン・サオさんによるプレゼンテーションがありました。カーネギーメロン大学(米国)のランディ・パウシュ教授が教壇を去る前の講演であるだけでなく、がんのためこの世を去る前の最後の講演でもあったので、本当に感動的でした。

2人の学生のプレゼンテーションは非常に魅力的でした。このような本について話すことが、学生たちの読書への欲求を幾分刺激していると感じ、本当にうれしく思います。これは、ヴォン・レン基金のひとつの目標です。

第2部では、学生たちはドンズー日本語学校の元学生であり、Ideaグループのド・ホアン・チュン会長に、起業



や仕事で成功するために磨く必要のある分野などについて質問をしました。仕事に対する態度、人生観…。長い時間ではありませんでしたが、学生にとっては大変有益な時間でした。とても充実した日曜日の朝でした!

<8月の活動> 加倉井弘行さんについての感動的なお話を聞きました。加倉井さんは亡くなり、ベトナム人学生への愛を

残しました。ヴォン・レン基金の学生は、代表してそれを受け取ることを光栄に思います。

<9月の活動> 9月最終日曜日は、数人が大学の活動があるため全員の同意を得て、ヴォン・レン基金の活動日を変更しました。

新しいコンテンツが始まりました。学生は1人10分間、発表し他の学生からの質問に回答します。今月は、クオック・ヴィエツ

トさん、マイ・ティさん、キム・ガンさんの3人が選ばれ、それぞれの活動と読んだ本について報告しました。彼らは、それぞれにとって合理的で最良の結果をもたらす勉強、語学学習、クラブ活動などを振り返りました。

ゴック・カインさんとドアン・ハンさんが、ファム・ル・アン著「100年が有限であると知ったら」という本についてプレゼンテーションを行いました。彼らは、本から読んだものを彼ら自身に結びつけました。誠実で感動的な共有をしました。これは、優れた本で、昨年、ナム・フォンさん、ミー・ハインさん、ホアイ・ロイさんの3人が非常に魅力的な方法で発表し、教師から高い評価を得ました。

次に、新しいコンテンツとして、学生たちが学習や読書などについての小さな問題について意見交換をしました。グエン先生は、英語の学び方と、本から得たものを人生に適用する方法について話しました。



< 11月の活動 > 11月の定例活動日が終わりました。今月は、皆さんの学期末の時期でした。ヴォン・レン奨学金の奨学生の皆さんは良い結果を出すために、理論、実習、試験などに大いに努力したと思います。ですから、大学の勉強の時間を作るために、ヴォン・レン奨学金の活動は減らしました。トアンさんとヴィエットさんは、大学のカリキュラムにある Excel の試験のために、この日の活動に出席しませんでした。

イェン・ニーさんが、石川拓治著『奇跡のリンゴ「絶対不可能」を覆した農家 木村秋則の記録』についてのプレゼンを行いました。この本は、農薬を使わずに自然栽培でリンゴを育てようと決心し、粘り強く20年を費やし成功した農家、木村秋則氏について書かれています。ニーさんは、この本から仕事での粘り強さ、忍耐力、創造性、そして家族の愛と信頼が木村氏の成功につながる要因であると述べました。ホアイ・ロイさんは、グエン・ズイ・カンの著作について自習を続けました。このカンの著作は、学習の必要性と効果的な学習の方法について書かれています。この本は1世紀前に書かれていましたが、今日でも役に立ちます。ロイさんは、こ

の本から得られる教訓は、学ぶ必要があるものを抽出し、それを効果的に運用するための学習法を本当に理解するということだと話しました。スティーブン・R・コヴィー著「7つの習慣」は、マイ・ティさんにとって本当に挑戦に値する、重くて厚くてアイデアのある本です。おそらく、ヴォン・レン奨学金がこの非常に有名な本が示した概念やアイデアに慣れるのにもっと時間がかかるでしょう。興味深い議論を約束します。

休憩後は、奨学金の受け取りと本の交換、そして、グエン先生の話の時間です。今日のうれしくない社会問題は、ベトナムの若者の怠惰な状況、怠惰な思考、怠惰な読書、それに、怠惰な活動についてです。全員が意見を述べ、この原因と自分への影響の範囲内でそれを克服する方法を提示しました。

楽しいことがひとつありました。教育訓練省の統計によると、2019年、ベトナム人は年間1人4冊しか本を読んでいません。ヴォン・レン奨学金はどうでしょう？ 2019年には、少なくとも1人12冊を読み、17冊読んだ人もいます。良いことじゃありませんか？ 強制ではありますけど。

< 12月の活動 > 肌寒い12月の風が2021年の初めまで続いています。先週日曜日は年末で活動をする時間がなく、今週の日曜日になりました。約束しておそろいの黄色いシャツを着ました。大変うれしいことに、今回はホウエ先生が今日の活動全てに参加なさいました。

今日、プログラムはとても長いので、ファム・フーン・タオさん、トアンさん、ヴィエットさんはすぐに本について発表を始めました。キャリアガイダンスに関する、フェニックス・ホー著「Cứ đi để lối thành đường」(道を作るために進み続けなさい) についてです。彼らは本の4つの主要部分について発表しました。

自分自身を理解すること、子どものためのキャリアガイダンスにおける親の役割、若者が魂に平和をもたらすことができるような職業選択のガイダンス、著者がキャリアガイダンスをする中での楽しい瞬間、悲しい瞬間の共有。著者は、愛を探すこととキャリアを探すことには類似性があると感じた、という興味深い内容もありました。そして、ヴィエットさんはこの部分をとても熱心に発表しました。

休憩の前に、学生たちは練習した歌、お正月の歌を歌ってホウ

エ先生を驚かせました。ホウエ先生はずっと楽しそうに笑っていらっしゃいました。

今日、ヒエン先生は学生たちと、マクロビオティックと英語の学び方という2つのトピックを話し合いました。そのとき、私は2羽のニワトリに気を取られていました…ですから、詳細の報告ができません。ヒエン先生との話し合いの後は、2020年の活動の総括をしました。そして、最後は小さなパーティーです。学生たちと先生たちが一緒に作ったチキンサラダと、チキンの汁ビーフンで。今回が1年で一番長い活動日でした。



(青葉奨学会 ヴォン・レン基金担当 ユン)

ホウエ先生 叙勲おめでとうございます！

2020年11月3日、日本政府は、令和2年(2020年)秋の外国人叙勲として141名の受章者への叙勲を決定し、青葉奨学会のグエン・ドク・ホウエ先生が、旭日小綬章を受章されました。ベトナムにおける日本語教育の発展および対日理解に貢献されたホウエ先生に対し、心から敬意を表し、お祝い申し上げます。

在ホーチミン日本国総領事と懇談中のホウエ先生⇒



ホウエ先生への祝辞

医療法人社団美心会 理事長 黒澤 功

このたびは、グエン・ドク・ホウエ先生の旭日小綬章受章誠におめでとうございます。ホウエ先生がこれまで取り組まれてきたベトナムにおける日本語教育の発展および対日理解の促進が日本国内外で高く評価され、このような素晴らしい受章につながりましたこと、心よりうれしく思っております。

私が初めてホウエ先生にお会いしたのは2018年6月13日のことでした。当時、日本の医療の安定と持続的な発展のために優秀な人材を探していた私は、知人の紹介を経て1人の優秀なベトナム人留学生に出会いました。彼はドンズー日本語学校の出身で、とても勉強熱心で、日本の学生にはないハングリー精神を持っていました。ベトナム人は、見た目もさることながら、真面目さ、心遣いなど、日本人と似通った点が非常に多く、今後のベトナムの医療の発展のためにもベトナム人の人材育成に注力したいと考えるようになりました。

その留学生と出会ってから1カ月後にはベトナム現地に赴き、ドンズー日本語学校をはじめバックマイ病院等の医療機関を見学し、自らの目でベトナムの文化や医療情勢を学びました。そのときに初めてホウエ先生にお会いし、ドンズー日本語学校の学生たちが厳しい規律の中で必死に勉強している姿を見て、自分たちの学生時代を思い出すとともに、ホウエ先生の下で育った学生が日本とベトナムの発展に大きく貢献して



くれることを確信いたしました。

ホウエ先生とのご縁はそれだけにとどまらず、以前当院で働いていた清水勇治氏がドンズー留学生支援会の理事長を歴任していたことを知り、そのつながりでアジア学生文化協会の理事を務めていた小木曾友氏が当施設に入居することとなり、ホウエ先生との^{きょうじん}強靱なご縁に大変驚いております。

ベトナムとのご縁はさらに深いようで、現在はハノイにある東京健康科学大学の附属病院建設に携わり、微力ながらベトナムの医療発展に貢献できればと考え日々邁進しております。

私もホウエ先生の志と同じく、ベトナムと日本の発展に貢献することをここに決意表明し、今後のホウエ先生のますますのご活躍と健康を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

会員さん紹介

茨城でベトナム野菜を栽培している会員の諸川さんを紹介します

私は9年ほど前に茨城県^{ほこた}銚田市で新規就農をいたしました。当初は水菜や小松菜などを両親と共に栽培していましたが、縁あって6年前にベトナム人である妻と出会い、今はアジア人向けのハーブ農園を営んでいます。現代の農業は技能実習生とは切っても切れない関係にあり、私の農園でも現在5人のベトナム人技能実習生たちが働いています。それぞれ育った環境や文化の違いから生活や仕事に四苦八苦しているところが見られますが、妻の助けを借りながら大きなトラブルを起こすこともなく和気あいあいと働いてもらっています。



技能実習生 へさんと
ガットさん



技能実習生 キエムさんと
トゥックさん

そのような感じで平和な生活を送ってはいるのですが、ひとつ残念なのは、仕事が非常に忙しいために支援している子どもたちへの手紙の返事が滞っていることでしょうか。

支援している子どもたちが大切なノートを使って送ってくれる手紙を読むたびに、なんとか時間を作って早く返事を出さなくてはと心苦しい思いをしています。思えば私がベトナム子ども基金様に支援の提案したのは3年前の秋のことでした。ハーブ農園が軌道に乗り余裕が出てきたことと、以前から貧しい環境に置かれているベトナムの子どもたちへどうしても支援をしたいと思っていました。

支援をする目的は2つありました。ひとつは妻が貧しい農家の出身で、半ば売られるようにして姉や弟と共に養子に出され、家族がバラバラになるなどつらい

経験をしてきたため貧困が理由の悲劇を減らしたかったことと、もうひとつはベトナムの子どもたちに金銭の憂いなく勉強に励み、高い倫理観を養って立派な人物になってもらいたかったからです。



妻 クィンさんと長女 ^{さや} 咲耶さん

かつての日本がそうでしたが、急激な経済成長の裏では物質的な豊かさに心が追い付かず、ともすれば弱者を切り捨てた利己的な発想に陥りがちになります。しかしそれは本人にとっても社会にとっても決して幸せな話にはなりません。ですからベトナムの子どもたちには単に本や教師から学ぶということだけではなく、学校という集団の場を通して多くの人たちと関わり合い、より良い道徳心を養ってほしいと思っています。そしてその機会を貧困に奪われないようにベトナム子ども基金様のご協力のもと、私も最大限の努力をしていきたいと考えています。私個人では微々たる支援しかできませんが、支援した子どもたちは成長し、やがて大人になっていきます。そのときに彼らが学んだ知恵と豊かな心で他

の誰かを救えるような幸せの連鎖を生み出せる人となってくれればと願っています。

そしていつの日か、立派な人物となった子どもたちと出会う日を信じて。



(諸川真一)

2020年 青葉奨学金支給の様子

青葉奨学会から、ホーチミン市とダナン市の報告が届きました。

ベトナム子ども基金の皆さま、いつもご支援いただき感謝申し上げます。子どもたちへの奨学金授与式の様子をご報告いたします。

ホーチミン市 (ドンズー日本語学校)

2020年6月14日は、ホーチミン市の学生のための2019-2020学年度の2回目の奨学金授与日であり、青葉奨学金の特別な日でもあります。

青葉奨学を含むドンズー奨学会を創設した先生、ホウエ先生の80歳の誕生日です。

青葉奨学会は「人材育成」事業を継続するため、ホウエ先生の健康を願っています。恵まれない子どもたちが学校に通うという夢をつかむため、将来の希望を実現するために。

COVID-19の影響が長引いたため、2回目の奨学金授与日は1か月以上遅れました。6月14日日曜日の午前7時30分に、集まった学生全員がそれぞれの里親の方への敬意と感謝の手紙を持ってドンズー日本語学校に集合しました。

青葉奨学会は、学生たちが2019-2020年度を無事に修了し、学習やその他の課外活動で多くの高い成果を達成したことをうれしく思っています。常に子どもたちの学習の道を共に歩み、見守ってくれる祖父母、両親、先生方、そして里親の方々に裏切らないよう、常に最善を尽くしてほしいと願っています。



ダナン市 (ドンズー日本語学校ダナン校)

2020年7月4日

ドンズー日本語学校ダナン校は、今年も青葉奨学金を子どもたちに直接手渡すことができることを光榮に思っています。

今年2020年に、ダナンで青葉奨学金授与に参加することができ、大変うれしく思います。青葉奨学会は、北部・中部・南部全国のベトナムの学生を支援する奨学基金であることが知られています。青葉奨学会の受給生たちの家庭の状況は大変ですが、常に素直で勉学に最善を尽くす学生たちです。

青葉奨学会はただの慈善事業ではなく、ドンズー日本語学校の校長およびドンズー日本語学校の親しい友人である日本人の

里親の方々の心とお金の蓄積で築かれてきた活動です。そして、2020年までに30年近く活動を続けています。

贈り物は小学生から高校生たちへの2学期の学業に対する奨学金です。困難を克服し、善良な種子を育て、将来、社会に役立つ人々になるよう願っています。

里親の皆さまの心にとっても感動しています。子どもたちは心から里親の皆さまに感謝しています。そして、弱い芽を守り育てていくためにより多くの皆さんが青葉奨学会の精神に賛同して下さることを願っています。学生の皆さん、青葉奨学会の意義を深く理解し、成長していきましょう！



ホーチミン市 (各学校)



ゾンオント小学校



ルーンテービン小学校



チャンクオックトアン小学校

遠くに見える緑の葉の下に隠されたほうおうぼく鳳凰木の花が、再び夏が来たことを告げています。

全国の学校では今年度の修了式で忙しく、“COVID-19後”の学年が終わりました。

青葉奨学会は、今年度も各学校と協力し、青葉奨学金で学生たちが困難を克服し、夢を照らし続けることを支援しました。

青葉奨学会スタッフは、2019～2020年度、第2回の奨学金を直接手渡すために各学校へ出向きました。ドンズー日本語学校で直接授与しました。

青葉奨学会は、学生たちが自分の夢を実現するために知識をより良く向上させていってほしいと願っています。

学生の皆さんが、2020-2021年度もより多くの良い成果を達成することを願っています。

トナムからの 手紙

奨学金はエネルギー

ドン・ティ・キム・トエ

この尊い奨学金を頂けて、私はとても幸運です。この奨学金のおかげで、私もきょうだいも学校の本が買えます。家族は困難で、両親は私たちを育てるために日雇いの仕事をしています。両親とも遠くで暑い外の仕事をしています。COVID-19のせいで、両親は働きに行けず、家にいました。そのとき、私たち家族はもっと困難になりました。COVID-19が過ぎて、両親はまた働きに行き始めたので、家族の困難は少し減りました。私に奨学金を下さって、ありがとうございます。これは私にとって、私や家族が生活の困難を乗り越えるための物質面だけでなく、精神的に大きなエネルギーです。どうもありがとうございます。

奨学金は大きな贈り物

グエン・ホアン・グエン・ヴァー

今日、奨学金を受け取りました。このお金を頂いたとき、とてもうれしかったです。このお金で、私はたくさんの意義のあることができます。このお金の一部でノート、ペン、定規などの文房具を買います。残りで学校へ行くための制服と、自分で使う物を買います。私の家族は、今、とても困難です。私の家族は地域の貧困家庭に分類されています。家族は狭い貸部屋で生活しています。父は亡くなりました。母は日雇いの肉体労働者です。けれど、COVID-19のせいで失業しました。仕

事は不安定なので、収入もとても不安定です。

里親さま、私を支援して、奨学金を下さってありがとうございます。今の私の境遇では、奨学金は大きな贈り物で、とても大きな価値があります。私が勉強で良い結果を取るためにエネルギーをくれます。

母や先生方の愛情を裏切らないように、何より、里親さまが私に下さった奨学金にふさわしく、いつも良い成績を維持できるように、真面目に勉強します。私は安心して勉強でき、夢を実現できるように、里親さまからのご支援と奨学金を続けていただけることを願っています。

里親さま、どうもありがとうございます。里親さまがいつもお元気で、幸せで、良いことがあるようにお祈りしています。

奨学金で精神的に強くなる

ゴー・クアン・ズン

ご存じのとおり、私の家族は困難を抱えています。COVID-19の感染拡大でもっと困難になりました。父は事故で片足を失ったので働くことができません。経済的な負担は母の肩にかかっています。母は工具ですが、COVID-19のせいで母の工場は一時的に閉鎖しました。それに、母も体が弱いので、仕事を辞めなければならなくなりました。兄は去年から働きはじめましたが、疫病のせいで仕事は不安定で、仕事の技術もまだ高くないので収入は少ないです。それが分かっているので、両親を心配させないように、私はいつも頑張っ

て勉強したり、鍛錬したりしています。今年、非常に優秀な生徒の称号をもらい、クラスのトップでした。今日、この奨学金を受け取ってとても幸せで、里親さまに感謝しています！この奨学金があるので、新年度になっても学費を賄うことができます。それ

だけでなく、奨学金は精神的にも意義があるもので、生活においてもっと強くなれます。もう一度、里親さまにお礼を申し上げます。ありがとうございます。私は、里親さまのご健康、平安とご家族や親しい人とともに幸せであることをお祈りします。

自分自身に約束を

グエン・ゴック・フン

私は今、中学校で勉強しています。父は農民で、お米を作っています。ですから、家族の生活は3サオの田んぼに頼っていますが、収穫があまりないこともよくあります。生活は困難ですが、父は、私たち兄弟2人が将来、苦勞の多い田んぼをしないでいいように、できるだけ上まで勉強させる希望を持っています。

父はもうすぐ50歳ですから、体力がだんだん弱っていて、いろいろな病気もあります。私は、父が苦勞しているのを毎日見えています。私の家族は困難でしたが、もっと困難になったのは、母が労働事故に遭って入院したときです。物質的な心配がある上に、家族全員にとって精神的に大きなショックでした。治療費もとても高く、家族全員が母を助けるために借金をしなければなりません。しかし、母は回復せず、家族はとても落ち込みました。

愛する人を失ったこの悲しみを表現する言葉はありません。私は、一生懸命勉強して良い成績を取ると自分自身に約束しました。父も弟も同じように、悲しみが少し癒えました。どんな境遇でも頑張っ

て勉強しなければならぬと知っていますが、障害を減らし、父の苦勞を減らすために、私には青葉奨学会のご支援が必要です。

里親さま、どうもありがとうございます！

事務局から

◆ ご入金報告 ご支援ありがとうございます(五十音順・敬称略)

2020年9月～2020年12月

◆ ベトナム子ども基金会員募集！ (友人・知人をお誘いください。ご協力お願いします！)

種別	名称	会費	内容	総会議決権
	運営会費	年額1口 20,000円 (学生:10,000円)	主に会の運営に関わり、事務局作業などをしながら子どもたちを支援する(学生は年会費半額)。	あり
基金 支 援 会 員	里親基金	年額1口 20,000円	特定の子どもに「里子」として奨学金を支給する。ベトナム青葉奨学会から、子ども の家庭状況を説明する履歴票が届き、里子との手紙のやりとりができる。	なし
	里親学生基金	年額1口 10,000円	同上(学生対象)	なし
	一般基金	年額1口 12,000円	子どもたち全体の「里親」という関係を想定している。通信を通じて子どもたちの 様子を報告する。	なし
	法人基金	年額1口 50,000円	一般基金に準じる(株式会社等の法人対象)。 お名前を通信・ウェブ等でご紹介。	なし
	賛助基金	自由	一般基金に準じる。金額、回数などいっさい自由。	なし
	学校建設黄梅基金	応相談	青葉奨学会と相談の上、ベトナムの辺地に学校を建設する。該当学校に黄梅奨学金 を併設することも可能。	なし
	個別黄梅基金	300,000円以上	年に1度、預金利子を奨学金とし、支給する。 基金の名前、支援地域等、相談の上決定する。	なし
	ベトナム黄梅基金	10,000円以上	複数のベトナム子ども基金会員で基金を設立、年に1度、預金利子を奨学金とし、 支給する。	なし

◆ ベトナム子ども基金を応援してくれているサイトです。

Junijuni 東京ガス

Junijuniでお買い物をしてくださったときに、代金の一部を、ベトナム子ども基金に寄付できます。

お手軽に買って、ちょっぴり社会貢献

junijuni
東京ガス

賞味期限が近い
などの商品を

お手軽に
買って

購入金額の
一部を寄付

URL <https://www.junijuni.jp/>

クリック募金 株式会社 Wakka Inc.

毎日クリックするだけで、ベトナム子ども基金に募金できます。この募金は、ベトナムで事業を展開するIT企業 株式会社 Wakka Inc. の負担によるものです。クリックする方には1円の負担もかかりません。

CLICK

YOU

SPONSOR

NPO/NGO

URL <https://heartin.com>

◆ ベトナム子ども基金へのご寄付は、下記の口座をお願いいたします。

<口座名(共通) 特定非営利活動法人ベトナム子ども基金(カナ):トクヒ)ベトナムコドモキキン>

基金支援会員(里親基金・里親学生基金・一般基金・法人基金・賛助基金)

郵便振替 00100-6-546799 みずほ銀行駒込支店 普通:1121865

基金支援会員(学校建設黄梅基金・個別黄梅基金・ベトナム黄梅基金)

郵便振替 00130-4-552361 みずほ銀行駒込支店 普通:1121873

運営会員 郵便振替 00100-6-546799 みずほ銀行駒込支店 普通:1121865